

令和4年度 第2回山武市総合教育会議 会議録

日 時 令和5年1月20日(金) 午後3時30分
場 所 山武市役所 新館3階 第5会議室
議 題 (1) 山武市立小中学校の規模適正化・適正措置について

出席者 ◎市長 松下 浩明

◎教育委員会

教育長 内田 淳一

教育長職務代理者 今関 百合

委員 木島 弘喜

委員 北田 昭雄

委員 相葉 英樹

○関係職員

副市長 上大川 順

政策調整監 石橋 和記

総合政策部長 荒木 康之

総務部長 小川 宏治

教育部長 今関 正典

企画政策課長 内山 晴夫

財政課長 秋葉 一徳

教育総務課長 川島 美雄

子ども教育課長 中村 之彦

子ども教育課指導室長 加藤 直樹

施設整備課長 嘉瀬 多市

生涯学習課長 秋葉 正明

スポーツ振興課長 高橋 宏和

・事務局

教育総務課副主幹 鵜澤 秀己

教育総務課主査補 若梅 友恵

教育総務課総務企画係主事 市東 和洋

◎開 会

教育部長

定刻となりました。ただいまから、令和4年度第2回山武市総合教育会議を開会いたします。

皆様には大変お忙しい中、お集まりいただき、ありがとうございます。

なお、本日の総合教育会議を傍聴したい旨、1名より申し出がございました。傍聴人の方にお願ひ申し上げます。傍聴は山武市総合教育会議設置要綱第8条の規定で、山武市教育委員会会議傍聴規則の例によるとされておりますので、同規則の各条項を十分遵守して傍聴してください。遵守されない場合は、退場を命ずる場合がございます。

また、規則第9条で、傍聴席において写真などを撮影し、または録音等をしてはならないと規定されておりますので、録音をしないようお願いします。

なお、撮影については報道関係者に限り、冒頭のみ許可しております。

それでは、次第に沿って進めさせていただきます。

初めに、松下市長より挨拶をお願いいたします。

市長

本日は御多用のところ、令和4年度第2回総合教育会議に御出席をいただきまして誠にありがとうございます。

教育委員の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えいただいたことと思います。

おかげさまで、「山武市二十歳を祝う会」もコロナ禍において、安全対策を講じた中で無事執り行い、将来ある若者の門出を祝うことができました。

また、当日は山武中学校出身の箱根駅伝で活躍をいたしました駒沢大学陸上競技部の篠原倭太朗さんも参加をしていただきました。

今後、各学校においても卒業式など節目の大切な行事が控えておりますが、みんなが無事で参加できるよう今後もコロナ対策の継続をよろしくお願ひをいたします。

さて、本日の会議でございますが、昨年8月24日に開催した第1回総合教育会議に続き「山武市立小中学校の規模適正化・適正措置について」を議題とし、成東中学校と成東東中学校の統合について、前回お示しできなかった私の考えをお示しさせていただきたいと思ひます。その上で御意見を交換しながら進めていきたいと思ひます。

会議の運営に御協力をいただくようお願ひ申し上げまして、挨拶とさせていただきます。よろしくお願ひいたします。

教育部長

ありがとうございました。

続きまして、内田教育長より挨拶をお願いいたします。

教育長

皆さん、こんにちは。御多用のところ、御苦労様でございます。

市長の挨拶にもありましたように、新型コロナの感染者がなかなか減少しない状況でございますが、そういう中で総合教育会議を開催していただきまして誠にありがとうございます。

総合教育会議は、法の定めに従い、教育を行うための諸条件の整備について、地方公共団体の長と教育委員会とが協議する場でございます。今回の会議は、資料にありますように、山武市立小中学校の規模適正化・適正配置について意見交換することとなっております。

教育委員会としましては、平成28年に策定しました山武市立小中学校の規模適正化・適正配置基本計画にのっとり、これまでに小学校と中学校それぞれ2組ずつの統合を行い、規模適正化・適正配置の業務を進めてまいりました。

本日は、市長からお考えが示されるということでございますので、その方向性について意見交換できれば幸いに存じます。

限られた時間ではございますが、実り多き会議になりますようよろしくお願い申し上げます。

以上でございます。

教育部長

ありがとうございました。

それでは、これより議事に入ります。

なお、議長につきましては、山武市総合教育会議設置要綱第4条第1項の規定により、「会議は市長が招集し、会議の議長となる。」とありますので、市長に議長となつていただき、議事の進行をお願いしたいと思います。

それでは、市長、よろしくお願いいたします。

◎議 事

(1) 山武市立小中学校の規模適正化・適正措置について

市長

それでは、議長を務めさせていただきますので、どうぞ御協力のほどをよろしくお願い申し上げます。

「山武市立小中学校の規模適正化・適正配置について」を議題といたします。前回、8月24日に開催をした令和4年度第1回会議に続き、「成東中学校と成東東中学校の統合について」を協議したいと思います。

また、この後、成東中学校と成東東中学校の統合について、私の具体案を皆様方に初めてお伝えすることになりますので、議論を深めるために、本日1月20日と24日に総合教育会議を開催し、継続して協議をしたいと思っております。

協議に入る前に、山武市立小中学校の規模適正化・適正配置基本計画における成東中学校と成東東中学校の統合について、どのように計画されているか、また、今後の生徒数の推移についても併せて確認をしたいと思います。

事務局から説明をお願いいたします。教育総務課長。

教育総務課長

教育総務課の川島です。よろしくお願ひいたします。

初めに、山武市立小中学校の規模適正化・適正配置基本計画における成東中学校と成東東中学校の統合でございますが、「地域性や通学距離の視点、また、今後の生徒数・学級数の推計や成東中学校校舎の老朽化への対応等を総合的に勘案し、2校での統合を検討します。統合後の学校位置は、現成東東中学校を学校位置として検討します。」とされております。

続いて、今後の生徒数の推移でございますが、本日お配りした資料を御覧ください。こちらは、令和4年5月1日現在の生徒数です。5年度以降は、この資料の年齢別の人数を当てはめたものとなります。令和4年度の市内中学校の生徒数は1,034人で、そのうち成東中学校の生徒は209人、成東東中学校の生徒は256人で、成東東中学校のほうが47人多い状況です。生徒数は今後も減少する見込みで、特に成東東中学校区の減少が顕著であります。そのようなことから、令和8年度には成東中学校の生徒数が成東東中学校を上回る見込みです。

また、令和16年度には成東中学校が166人、今年度との比較で43人の減、成東東中学校126人、今年度比130人の減となり、両校の生徒数は、おおよそでございますが、成東中学校6、成東東中学校4の割合となる見込みです。

それぞれの中学校区の生徒数の減少傾向から勘案すると、17年度以降もこの傾向が続き、成東中学校区と成東東中学校区の生徒数の差は、さらに拡大するのではないかと推測されます。

以上、事務局からの説明となります。議長、お願ひいたします。

市長

ありがとうございました。

成東中学校と成東東中学校の統合校の位置等について、それでは私の考えを報告させていただきたいと思ひます。

初めに、この案に至るまで長い時間を要しましたことを、お詫びを申し上げさせていただきますとともに、適正配置基本計画も長い間、時間をかけて成案化したもので、その変更が伴う案を、これから説明させていただきますが、そのことについて皆様方におわびを申し上げまして、お話をさせていただきたいと思ひます。

結論から申し上げますと、まず成東中学校校舎を改築し、ただちに統合するのではなく、その校舎を将来的には統合中学校として活用する。つまり、統合

校の位置としては、将来的に現在の成東中学校の位置としたいとの考えに至りました。このことについて御同意いただけるのであれば、改築後の校舎の規模や統合の時期等についても議論を深めたいと思います。

まず、学校の位置について、この案に至った理由でございますが、これまでまちづくりを念頭に置き、各中学校区での今後の生徒数の推移も勘案した中で、統合中学校は成東中学校区の市街地に建設と、これまで申し上げてまいりました。その間、様々検討をした中で、現在進めている成東駅北側の道路の整備に向けた手続の状況を考慮いたしますと、現在の成東中学校の位置も統合中学校の候補地として考えられるようになったため、改築して出来上がる校舎を将来の統合中学校として活用していきたいというのが、私の案になります。学校用地につきましては拡張し、教育施設の充実を図りたいと思っております。

その中で、1点目として、改築する学校の規模は、今後、生徒数が減少していく現状を見ますと、今の2つの中学校の生徒数を想定した規模の学校は将来的には大きすぎてしまうため、今の成東中学校程度の規模で改築したいということ。

また、2点目といたしまして、学校の規模と関連すると思われませんが、統合の時期については、教育委員会で学校の運営に与える影響などを判断し、決めていていただきたいと思っております。

この結論に至るまで、私なりに幾つかの候補地を挙げてきましたが、繰り返しになりますが、成東中学校校舎の改築を行い、その校舎を将来的には統合中学校として活用し、統合校は将来的に現在の成東中学校の位置としたいとの考えに至りました。

私の考えは以上でございます。

これから教育委員の皆様方の御意見を伺いたいと思っております。皆様、いかがでしょうか。

木島委員、お願いいたします。

木島委員

教育委員の木島です。今、市長から御説明いただきましたけれども、市長としましては、成東中学校の改築をして、その校舎の完成時に統合ということではないということでしょうか。

統合の時期につきましては、教育委員会で決定することだと思うんですけども、市長御自身として、いつ頃の統合を想定、イメージしているのか、そしてこの案をお示しいただいたのかというところをお聞かせいただければと思います。よろしくお願いいたします。

市長

ありがとうございます。

統合の時期についてですが、教育委員会が所管することとなりますけれども、出生者数から見た将来の生徒数の想定では、それぞれの中学校で、現在の適正配置計画によるような規模に校舎の改築の期間を過ぎてもならないということと、成東東中学校の校舎も平成 22 年竣工とまだ長く使用できると思います。今、大きな校舎を建ててすぐに統合するというのではなく、将来的に教育委員会で学校の運営に与える影響が顕著となったところの判断をして決めていただきたいと、そのように現在考えております。

木島委員 承知しました。

市長 ほかにございますか。 北田委員、お願いいたします。

北田委員 教育委員の北田です。昨年の8月 24 日に開催されました総合教育会議では、市長は、生徒数の多い成東中学校区から少ない成東東中学校区へ通学することへの疑問や、まちづくりの面から統合中学校は成東中学校区に新設したいということでありましたので、私も市長の考えを支持する旨の発言をいたしました。確かに成東中学校校舎の老朽化の対応は第一に行うべきですし、現在の成東中学校も、当然、成東中学校区でございます。しかしながら、新たな用地を求めず、このような結論に至ったということで、様々検討したということですが、ほかに候補地がなかったのか、その辺りをお聞かせ願えればと思います。よろしく申し上げます。

市長 北田委員からの御質問ということでお答えをさせていただきます。

学校用地を選定する上で求められる学校の用地の大きさとしては、3から4ヘクタール程度のまとまった用地が必要となることと、成東東中学校区からの通学も踏まえすと、初めに統合中学校の位置は成東駅より海岸寄りと考えてみました。

都市計画道路の予定地を避けてまとまった用地は殿台地先となりまして、そこは河川が近く、また、大規模な道路や水路の付け替えなどが必要ということでありました。そのほか、山武医療センターの建設を行っております用地の付近も検討してみましたが、東金方面になってくことや、また、富田方面の総武本線沿いからも多少範囲を広げてみても進入路の幅の問題などがありまして、まとまった用地は早船地先手前になってしまうということで、こちらも学区の中心から外れてしまうということもあります。また、これらの候補地は農用地区域となりまして、手続に時間がかかることや地盤改良も必要となって、条件はそれぞれ異なるわけでございますけれども、多くの費用や時間がかかってしまうということがありました。

成東中学校の老朽化を考えたときに、校舎建築着手にこれ以上時間をかけて
いられないということで、成東駅北側の道路の整備に向けた手続の状況を考慮
したときに、現在の成東中学校の位置も統合中学校の候補地として考えられる
ようになりまして、そこは他の候補地より時間をかけずに成東中学校校舎改築
に着手できるといったことが、今回、私の判断する決め手となりました。

検討の経過としては、以上ということになります。

北田委員、いかがでしょうか。

北田委員

ありがとうございます。

市長

それでは、ほかに。

相葉委員、お願いいたします。

相葉委員

教育委員の相葉です。よろしくお願ひいたします。今、市長のお話をいた
だいた結論を言わせていただくと、まず、成東中学校の建て替えをするとい
うことになると思うのですが、それであれば、今まで4年以上もかけずに結
論が出せていけたのではないのでしょうかと思います。市長も再三言われてい
る、その間にも大分校舎の老朽化が進んでしまうということも事実ですし、
市長はその辺りをどうお考えでしょうか。

市長

相葉委員、ありがとうございます。

具体案を示すまで、確かに時間がかかってしまいました。その点は大変申し
訳ないというふうに思っております。山武市の中央である成東地区の中学校の
統合ということで、現在の計画を変更して将来のまちづくりを念頭に置いて新
たな用地への建設など、非常に重い課題でありました。先ほど申し上げたよう
に、いろんなところを検討していたんですが、適地が見つかりませんでしたの
で、時間が経過してしまいました。

繰り返しになりますが、成東駅北側の道路の整備に向けた手続の状況を考慮
したときに、現在の成東中学校の位置も統合中学校の候補地として考えられる
ようになりまして、また、他の候補地よりも期間をかけずに成東中学校校舎の
改築に着手できるといったことが決め手でございます。私の考えに同意してい
ただけなのであれば、建て替える校舎は、将来の統合中学校として使えるよう
にしっかりとしたものを建てていきたいと思ひますし、私のできることは行っ
てまいりたいと思ひます。教育委員の皆様方には御理解いただき、このことを
進めていきたいと存じます。お願ひします。

相葉委員

ありがとうございます。

市長 ほかにも。
今関委員、お願いいたします。

今関委員 今関です。市長が統合後の学校とされている成東中学校は、成東東中学校よりも用地が少し狭いと思います。また、スクールバスも運行することになると思うのですが、その辺りは大丈夫でしょうか。

市長 成東中学校は、確かに成東東中学校より約 2,800 平方メートルほど狭く、形も四角い形ではないので、校庭における校舎の配置など設計面での工夫をお願いするということになろうかと思えます。また、学校用地につきましても、拡張して教育施設の充実を図りたいということも思っております。

道路の問題は、改築工事を行う際の工事車両の進入路として、踏切からではなくて、いちご園さんがあるほうの道路脇の、あそこは水路がかかっているんですが、暗渠として有効的に幅を広げていくこととなると思いますので、その辺を進入路とすることも考えられるのかなというふうに思っております。成東駅北側も今すぐに道路が通るということではございませんが、成東中学校校舎改築の期間や統合の時期など、時の経過とともに道路の開通も見込まれてくるのではないかと思います。また、スクールバスの運行も、その状況に応じて考えていきたいというふうに思っておりますので、その辺、そのように今は考えております。よろしいでしょうか。

今関委員 分かりました。どうもありがとうございました。

市長 どうもありがとうございます。
それでは、教育長は、今回、私の示した案について、教育長としてのお考えをお聞きしたいと思います。お願いいたします。

教育長 先ほど事務局からの説明にありましたように、成東中学校と成東東中学校の統合ですけれども、現在の計画では、他の中学校の統合のように学級数が減少することにより、既に学校運営に影響が出ているということを解消する統合とは違いまして、成東中学校校舎の老朽化を解消することも目的としており、比較的新しい成東東中学校の校舎を統合校の位置として検討するというものでございます。

市長の案を伺いまして、成東中学校の老朽化の解消ということでは現在の計画と同じなんですけれども、現在の計画も時間をかけて成案化したということ

で、冒頭、市長からもお話がありました。本日出されました市長からの案を基に、統合の時期なども含め、どのような計画になるのか、将来の子どもたちの教育にとってよいものになるのかということが一番に考えまして、次回まで継続で審議ということでございますので、いま一度、それぞれの教育委員が持ち帰りまして考えを整理していきたいというふうに思います。その上で、次回24日の総合教育会議に臨みたいと考えております。よろしく申し上げます。

市長

教育長、ありがとうございます。

本日お示した案を私なりにいろいろ考えてきたものがありまして、教育委員会でも、将来の子どもたちの教育にとってよいものとなるよう、ぜひとも御検討のほうをお願いしたいと思います。今日初めて示したもので、その中で皆様方に御意見いただいているんですけども、また次回の24日の教育会議に御意見等をいただいて、しっかりしたものということで進めさせていただきたいというふうに思います。

本日の協議は以上でよろしいでしょうか。
(「はい」の声あり)

市長

それでは、事務局より本日のまとめのほうをお願いしたいと思います。
教育総務課長、お願いします。

教育総務課長

本日の協議結果のまとめについて御報告いたします。

会議の冒頭、市長から、「山武市立小中学校の規模適正化・適正配置について」を議題とし、「成東中学校と成東東中学校の統合について」を協議したいということで、1月20日及び24日の2回の総合教育会議で、この件を継続審議することとなりました。

その上で市長より、成東中学校と成東東中学校の統合について、まず成東中学校校舎を改築し、ただちに統合するのではなく、その校舎を将来的には統合中学校として活用する。つまり、将来的に統合中学校は、現在の成東中学校の位置としたいとの案が示されました。

それに対する質疑の中で、教育委員から、1点目として、この案の報告に当たって市長が考えた統合の時期について。2点目として、統合中学校の位置の選定に当たって他の候補地、また、その考え方と経緯について。3点目として、案をお示しいただいたわけですが、その間4年間経過した。そのようなことに対してどのようにお考えだったか。4点目として、成東中学校を学校位置とした場合のスクールバスの運行、また、校庭の広さなどについて。以上、4点の質問がございました。

それぞれに対し、市長から回答があったところです。

最後に、教育長から、本日お示しいただいた市長の案でございますが、成東中学校の老朽化の解消ということでは同じである。現在の適正配置基本計画も長い時間をかけて成案化したものでありますので、本日示された市長からの案を基にどのような計画になるのか、また、教育にとってよいものとなるのか。継続審議ということでございますので、いま一度、教育委員で考えを整理した中で次回の会議に臨みたいという形であったかと思えます。

次回の会議でございますが、市長の本日示された案に対する教育委員の考えを、再度、それぞれの教育委員で、いま一度考えを整理した中で継続審議としたいと思えます。

事務局からのまとめは以上となります。

市長

それでは、事務局から本日の協議結果の御報告がありました。皆様方から何かございますか。（「なし」の声あり）

ありがとうございます。

次回ですが、1月24日火曜日、午後3時30分から本日と同じく市役所新館第5会議室で行いたいと思えます。皆様方には御多用と存じますが、御出席いただきますようお願いを申し上げます。

以上で議長の任を解かせていただきます。会議進行に御協力をいただきましたことを御礼申し上げます。ありがとうございました。

教育部長

市長、ありがとうございました。

以上で、令和4年度第2回山武市総合教育会議を終了いたします。お疲れ様でございました。

◎閉 会 午後3時59分